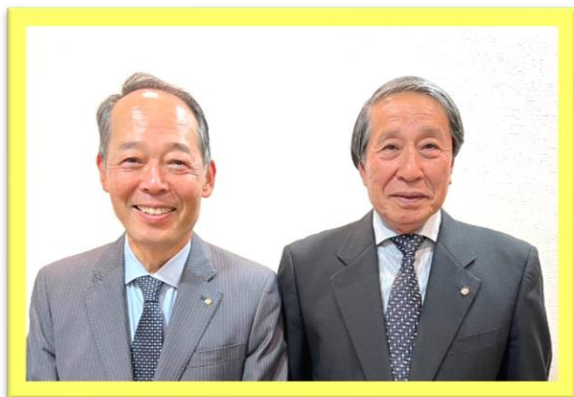




世界に希望を生み出そう

草加松原ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう



第563回 例会 3月5日 草加市文化会館

＊＊本日のプログラム ＊＊

開会点鐘	会長挨拶
君が代斉唱	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
ロータリーの目的	SAA報告
四つのテスト	出席報告
お客様紹介	閉会点鐘

誕生祝・結婚祝

2月27日の例会記録

◆ 会長あいさつ 山崎秀美会長

皆さんこんばんは、今日は凄く寒い、北風が吹いていまして会員の皆さんは風邪をひかないようにご注意を願いたいと思います。

昨日「能登半島地震のチャリティコンサート」を草加シティ RC と共催で2月12日に開催し、集まった支援金15万円を市に持っていきました。市長さんと色々懇談してまいりました。草加市も能登半島地震に、色々な人的支援、あと簡易トイレを結構送っているような話をいただきました。色々な大災害になると、トイレ、お風呂、そういうものが非常に大変になるということで、そういったところを女性の目で、ちゃんと支援をするということを感じた次第です。

今週の29日、「松原塾」牛山さんが命名して下さいました。ロータリーのオリエンテーション第1回目を開催しようと思っています。会場は「夢屋」です。一応私が塾長と言うことになっているようですが、私自身ロータリーの内容が、非常に詳しくなったというわけではないのです。ただ、ロータリー言うのは、今までは、職業を通じて、色々な社会の人たちと関わり合ってきたわけですが、そういった側面じゃなくて人間として奉仕をするという面からロータリアンとして活動することによって、別の側面が感じられたので、ぜひ専門職、あるいは地域の指導者の方に私が理解したのが遅かったのかもしれませんが、皆さんもう理解しているかもしれませんが、こういう風に遅咲きでも感じるようになったということをきっかけに

2年、3年くらいの入会の方に、速成ロータリアンって言いますか、完成になるべく早く到達していただくようなヒントみたいなものを、委員長さんに説明していただきたいと、こういう風に考えているところです。参加していただける委員長さんが、ロータリーの色々な疑問を投げかけられた時にみんなで考えるというような形で運べれば良いなと思っています。目的は自分の仕事を通じて社会と関わっている、そして社会奉仕をしている。あるいは国際奉仕をしているということになるかもしれませんが、違った側面で1人の人間として奉仕をしながら世界を1つにするという運動をすることは、とても重要なのかなという風に私個人で考えるようになりましたので、そういったところをちょっと分かっていたいただければと思ひまして、企画しました。3回ありますけれど出られる時に出ていただいて、教材はロータリーの基礎というものを配布していますので、お手元がない方は事務局さんに言っていただければ、準備をさせていただいておりますので、それを読みたくなるようなオリエンテーションにしたいなと思っています。

結局は、ロータリーっていうのは、凄く歴史があって、色々な奉仕をやっていると思うのですが、全部を理解する人は、そんなにはいないと思うのです。何かしらのきっかけでいいと思う！1つでもいいなと思うところをきっかけに、全体像を「ロータリーの基礎」を1回くらい読んでもらえるような機会を作りたいと、そういう趣旨でございます。29日でございますので、よろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2770地区第9グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：山崎 秀美
幹事：会田小弥太

例会日：毎週火曜日 19:00~20:00
例会場：草加市文化会館
事務局：草加市青柳 8-56-21
TEL/FAX 048-967-5315
PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp





私の職業と職業倫理及び次年度に向けて

富永 悟会長エレクト

皆さんこんばんは、今日は「私の職業倫理と次年度の抱負」と盛りだくさんにされちゃったのですけれども、とりあえず職業奉仕ということで私のお仕事について少しお話をさせていただきたいと思います。

私は、今勤めておるのが有限会社「トミナガ」とカタカナになっております。社長として、今仕事

をさせていただいておりますけれども、私で3代目になります。創業は大正14年となっておりますけれども、昔うちのお祖父さん、初代から聞いた話だと、大正初期、5年、6年ぐらいから「ランプ屋」としてランプを売っていたと、あとランプ油の交換とかそういった仕事を最初始めていたらしいです。昔のランプって硝子で出来ているのです。硝子の間屋さんとか、そういった所とのお付き合いがあって、近くの家の窓ガラス、昔は木の枠なのです。2ミリの薄いガラスが入っていたのですが、硝子が割れたと言ううちのお祖父さんが硝子を仕入れて、修理・取替をしてあげる形で、硝子の修理とか、そういった形のことをやっていたのが、1番の取っかかり、うちの商売の始まりとい聞いております。それから、うちのお祖父さんが、ランプが電気が変わっていき、なかなか売れなくなったということで、硝子で商売をしていこうということで、建具屋さん、当時は木製の窓ガラスが主流だということで、その窓ガラスを専門的に、建具屋さんと言って、窓とか障子とかを作る会社から、硝子工事を委託されて、そういった工物を作る。さらには、家のお祖父さんは手先が器用だったらしく、農家さんって、昔からちょっとですね、絵を硝子に入れたりするのです。今でいうサンドブラストなのですからけれども、昔の機械は、砂がバーッと機械がから出て、通すと硝子が傷ついて白っぽくなるというそういった形で、サンドブラストで、今みたいに手を突っ込んで模様を書いたりというわけじゃなかったみたいですね。自分も小学校の低学年、多分3年生ぐらいまでは、自宅の裏に結構大きい加工場があって、機械があって、ベルトコンベアーなんか動いているのです。その上に硝子を載せて、砂がザーッと落ちている機械の中にガラスが入っていくと、だんだん砂の量を減らしてって、途中で引き抜くと、ぼかして言って、下からグラデーションがついた見えないところから薄くなって見える硝子そういうのをお祖父さんが手作業でやっているのを一緒に手伝うというより、遊びに行っていたみたい、お小遣いをもらいに遊びに行っていた覚えがあります。絵みたいなのは、硝子に紙をのりで張って、お祖父さんが絵を描いて、切り抜いてそれを機械でバーッと入れると、サンドブラストされて、その後、水かけて紙を剥がして、模様だけ残るみたいな、そういった形の硝子を大きな農家さんの大きな家なんかだと、雪見障子だとか、山水とか、そういった形で、加工もうちのお祖父さんがやっていたのを覚えております。

木製の建具も今は窓の外部に面したところに木製はついてないと思うのですけれども、今はアルミサッシですね！うちの父親の時代には時流が変わってアルミサッシが出てきたということで、うちの父親の方が、先代ですね2代目、うちの父親の方が、アルミサッシの窓に目をつけて、ビルの工事にアルミサッシをつけ、一緒に硝子を組み込んでいくってような商売をして現在に至っています。

私も子どもの頃からそんな形でお祖父さん、父親の商売を見ながら育って来ましたので、実は子どもの頃は設計技師になりたい！牛山先生みたいな仕事ですね！よく自分でも、家の間取りの絵を小学校の頃、書いていたのを覚えているのですが、うちのお姉さんからもお前は変わっていたよね！あんな絵を書いて何が楽しいのだろうとよく言われましたけど、自分でも部屋の間取りを書くのが大好きだったので、本当は牛山先生みたいになりたかったのですが、途中で自分の学力では無理だということに気がつきまして、やっぱり好きな父親が歩んできた、この稼業を継ぎたいなっていうのは、結構、高校生ぐらいからは自分の家業を継ぎたいと思っておりました。そんな形ではどうしようと思った時、高校生の時に自分の同級生、中学の同級生を紹介して、うちで働いていたのです。夜になると、一緒に遊ぶのですが、昼間はうちで働いている同級生が早く社会に出て、どんどん、どんどん自分との差が開いていくのです。このままうちに仕事に入った時には同級生の方が随分技能的にも上にいいし、大変だなと思ひまして帝京大学の法学部に進んだのです。法学部は受験が簡単だと言われた、経済学部は落ちるからやらめろと先生に言われて、帝京高校から、帝京大学の法学部に入ったのですが、法律の中で先々何がいいかな、民法の訴訟法みたいな形を専攻して自分で仕事を起こした時に色々役に立てばいいかなと思いつつ大学に行きました。

ただ、そんな中、その同級生がどんどん、どんどん先を行くわけです。社会においては、社会的地位がどんどん、どんどん上がっていくので焦りまして、大学の3年の時に大学行きながら、ガラスの技能専門学校が東京に当時ありまして、そこに夜、通いまして、2年間で卒業なのです。大学3、4年と専門学校も一緒に行きまして、卒業した時には技能検定試験を受けて2級硝子技能士免許を取りました。その勉強したことによって、とても自分の仕事、硝子屋の仕事が身についたし、とてもためになったなとは思っております。そんなこんなです。ね、技能的なものを、知識的なものを身に付けて、どうにか同級生に追いついたような形を取りながら10年間ぐらいは一緒に下積みをして、現場に出て技能、硝子施工者としての技能というのを磨いてきました。そんな中で父親からはいつまでもみんなと一緒に仕事しているだけじゃ会社の経営者としては務まらないと言うことを、散々色々言われまして、ただ、何をしたいかっていうのは、教えてくれないわけです。うちの父親もそんな経験はないので、多分他の会社みたいにうちを大きくしろという意味合いではっぱを掛けていたのかもしれませんが、自分が何も技能、経験がないのにそんな、口先でついてこいって言っても、なかなか皆さん先輩方が付いて来てくれるわけではないと思っていましたので、取り敢えずは誰に聞かれても、誰に言われても、何でもできるようにだけはなりたいと、ひたすら現場に出て硝子修理をして、外回りをしていたあの頃が本当に今になって思うと、1番良かったのではないかなと思っております。そんな中でJCからして、ロータリーとこういった地域貢献団体ですか！お声がけをいただいて、仕事っていうのは地域に奉仕することなのだ！職業奉仕することだよって言うことは、ロータリーでよく学ばせていただきました。

そんな中で、RRになってしまうのですけれど、今、うちが地域、皆さんに奉仕している中で窓の断熱窓と言う考え方があります。カーボンニュートラルの時代に向けて省エネ化した断熱住宅が普及して

おります。それはなぜかと言うと、調べていくと壁とかは断熱効果が高かったわけです。窓硝子から大部熱が逃げていると言うことで我々もその窓っていうものを高断熱化することによって多少なりとも省エネルギー化に貢献しようじゃないか！それが我々のできる社会奉仕・職業奉仕だという形で私も一生懸命努めているところでございます。ここからはパワーポイントを使って説明をさせていただければと思います。

こちらに家庭内でのヒートショックにより亡くなる人は全国で1万7000人となっております。交通事故の死亡者、全国で4600人の3.7倍と言うことで、家庭内で亡くなっている方って結構多いと言うことです。そしてさらには熱中症で最近凄く暑い中で、ひとり暮らしの方とか、ご高齢の方とか、たまにニュースであると思えますけれど熱中症で亡くなる方も増加傾向だということになっております。そもそも寒さと健康と言うのは比例するもと言うことが最近分かってきております。住宅の寒さと健康リスクって言うことで、部屋間の温暖さと言うのが1つございます。

今、温暖化と言っても家全体を温暖化している家、最近の新しい建物はみんなそうなのですが、まだまだ、浴室が寒かったり玄関先は予算のために断熱化してないとか、そういった家が多いのが現状です。

部屋間の温度差、浴室、脱衣場、トイレ、廊下その辺は、リビング、寝室等いつもいるところに比べると寒い傾向にあるよっていう統計です。そのようなところで、温かい所から、冷たい脱衣場などに行った温暖差で、ヒートショックって起きますよ、起きることが多いですよと言う事です。断熱、高断熱と健康の改善効果って言うことで健康住宅と言われていて、高断熱化の住宅に住むことによって、色々な病気が抑えられている、改善されている例の説明になっております。人と健康のために省エネで温かい住宅に住みましょうとの取り組みを今行っています。こちらは熱が逃げる状況を説明しています。左側は夏、71%の熱が窓から入っている形が統計で出ております。右側は、冬48%の熱が窓から逃げている。これは窓硝子が1枚の場合です。今の新しい建物は、我々が販売させていただいている窓もそうですけど、ペアガラス、二重窓、二重硝子が主流になっており、窓外構からの熱の侵入、放射熱、熱が逃げちゃうのをより少なくするような形で、二重が硝子、三重硝子、さらには、熱線被膜を出して、どうにか壁の熱、断熱性に近づけようと、今努力しております。

断熱サッシの普及率です。いまだに非断熱の窓が58%という形になっております。

今、既存の窓、1枚硝子の窓をどうするの！家建て替えるの！窓を交換するの！そんな形で、色々なリフォーム方法があります。

・1つは今の窓が寒い窓だよって言うところに、内側にもう1個窓をつけてしまう。樹脂製の窓で、熱がアルミのよりにすぐに伝わらない素材でできており、今の窓に新しく内側に窓をつけることによって、窓を複層にして窓から逃げる熱、入る熱を抑えていこうっていうやり方。

・もう1つは、真ん中です。今の硝子、1枚の硝子を真空硝子や、二重ペア硝子、複層硝子に交換するやり方

・3つ目には1番右側、サッシごと今の新しい断熱サッシに交換しようというやり方があります。

各々長所と短所がありまして、1番左側はローコスト、短時間でできます。真ん中は、既存のアルミの窓の気密性が劣化していると硝子だけが熱を通さなくなっても、隙間風等が防げないっていうデメリットがあります。但し施工は硝子が二重になるだけなので、周りに対する影響、物的影響は少ないです。1番右、窓ごと交換は、新しい窓になるのですが、やっぱり既存の窓を枠ごと外さないといけないので、周りの外壁や内装も壊してやり直さないという事でコスト的には高くなります。カバー工法、外壁までいじらないで施工できるようにという形で、障子だけ外して、残った窓の中に新しい窓を組み込むやり方もあるのですが、そのやり方の場合は、コスト、工期が短縮される分、窓が小さくなってしまふデメリットがあります。その辺はケースバイケースで、お客様と相談しながら、どういった形がよりベストなのかを決めて進めていくリフォーム方法が今主流になっております。今こちらのことを紹介させていただいた中に職業奉仕たるひとつの由縁です。

本年度「住宅省エネ2024キャンペーン」と言うのが始まりました。こちらは、国の方でカーボンニュートラルの2025年の実現ということで経産省・国土省・環境省の三省の連携によって補助金が設けられております。実は昨年度も補助金が出たのですが、昨年度で1100億円の補助金が当てられました。まだやり始めてなかなか消化率が新築をやっているデベロッパーさんが多く使ったような形になっております。弊社でも何件かやらせていただいたのですが、申請方法が急に出てきたので難しかったのを覚えております。それに対して本年度も1300億円という予算がついて補助金が決まりましたので、お時間を少しいただいでご紹介をさせていただいております。先進的リノベ事業1350億円です。子育てエコホーム支援事業と言うところ200億円、こちら先進的リノベ事業は高断熱窓の設置に対して、上限を1世帯200万円という形で、補助額がおける工事になっております。この補助額っていうのは、1つの窓に対してどれぐらいの断熱性能の窓を取り付け、窓の性能が上がったかによって、補助金額が変わってきます。200万円までなら180万円の工事をやったから、180万円貰えるのかと言うと、そうではなく、1窓に対して大体目安で言うと工事費・製品代で半分ぐらい国が補助してくれるっていう形になっております。3分の1ぐらい補助されるよっていう形、全体的に200万の工事をやったら、7、80万の補助金がもらえて、3分の2ぐらいの工事費で、工事ができるという今ちょうどタイムリーな時期でありますので、そういった補助金を是非皆さんも活用して健康な住宅にお住まいになられて少しでも楽しく、長生きをしていただいて、より良い人生を歩んでいただきたいなということで、職業奉仕に少しでもつなげられればと思い今日は自社のPRも兼ねながら、発表をさせていただきました。ぜひ、お知り合いでお困りの寒い・暑いと言うことで住まわれている家がお悩み事がございましたら、是非とも個別に相談いただければ、もっと詳しくより良い情報をお伝えできればと思っております。一応、職業奉仕としてはこんな形で、話を終わりたいと思います。ありがとうございます。

引き続きまして、あと2. 3分次年度の抱負ということでお話をさせていただきます。まだ PETS(会長エレクトセミナー)がまだ行われておりません。名前が PETS から PELS(会長エレクトラーニングセミナー)に変わったのですが、3月13・14日開催で行われる予定です。そちらで地区の方向性等が発表になり、それに絡めて我々草加松原 RC も事業を構築していきたいなどと思っておるところですけれども、基本的に私としては、次年度は新しいメンバーの方が多く入られた。そして本年度、山崎会長は若い会員にロータリーというものを勉強する時間を取っていただいておりますので、次年度は若いメンバーと共に役職を若いメンバーにこなしていただいて、一緒にロータリーを楽しく作り上げていきたいなどと思っております。一応ここで、各部門、委員長、委員長の方たちのご紹介をさせていただきます。

会長エレクト	木村博行会員
幹事	二階堂祐司会員
会計	飯山英彦会員
SAA	黒川和彦会員
直前会長	山崎秀美会長
管理運営部門委員長	牛山信康会員
プログラム委員長	森 勇一会員
出席委員長	鈴木 努会員
親睦委員長	竹村美保会員
ロータリー情報委員長	牛山信康会員
公共イメージ部門委員長	鈴木 努会員

会員増強維持部門委員長	加藤芳隆会員
会員増強維持委員会	黒川和彦会員
職業分類選考委員会	田中和郎会員
奉仕プロジェクト部門委員長	長谷部健一会員
職業奉仕委員長	山口昭人会員
社会奉仕委員長	会田小弥太会員
国際奉仕委員長	北畠文康会員
青少年奉仕委員長	堀田一人会員
ロータリー財団部門委員長	大塚嘉一会員
米山記念奨学会部門委員会	佐々木一男会員
IT 委員会委員長	安田洋介会員

ベテランの方と若い方を織り混ぜた形で来年度進めていきたいと思っております。なるべく新しい発想から新しいことにチャレンジする1年にしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

誕生祝 2月3日 結婚祝 2月4日

長谷部健一会員

皆さんこんばんは、お誕生日ありがとうございます。実は結婚祝いが2月4日で誕生日が2月3日で、もう45年前になります。年は73歳になったのですが、何とか金婚式ですが、50年まで頑張ろうね！といつも家内と話しているのですが、2月3日生まれだったので、先々週の例会の時、色々お話 したかったなと思っていたら、インフルエンザ A 型に罹りまして2週間ほど体調崩しましてね。なかなか声も出ないし咳も出ると、なかなか外に出られなかったのですがやっと戻ってきました。

簡単にお話すると草加生まれの草加育ちということで、仕事は税理士をやっていますけど、元々「菊水」という旅館の息子で生まれました。旅館業なのでサービス業ということで、人にサービスするのは元々好きだということで育ったのですが、中学高校と行くうちに、旅館業、家族的会社は、家族の犠牲もあるので辞めたいなどと思って税理士を目指して、音楽をやりながら税理士、30歳で税理士になりました。

今、もう42年目に入っていますけれども、税理士会家業をずっとやっているというところ。税理士の理念、うちの事務所の理念で、職業奉仕の話になるのですが、「自利」とは「利他」を言うと言っているのですね。「自利利他」と言うのですが、これロータリーの利他の気持ちとすごく共通するのです。ロータリーに入る前から私たちは「自利利他」ってやっていたのですが、あなたが「利」とは喜ぶこと言うのです。利益じゃなくて、「自利利他」というのは、「あなたが喜ぶことが私の喜びです」ということつもりで仕事をするのだということです。それが職業奉仕の基本になると思うのです。毎週火曜日の朝に朝礼をやって

この全員でこの基本理念「自利とは利他を得る」というのを順番に担当を決めてやって、業務方針として、「税理士業務を通じてお客様と地域に貢献することが従業員の幸せにつながることを信じ、自利利他の精神で個人並びに法人の適正な納税義務の実現と反映をアシストします」これが我々の業務方針なのです。それを週に1回は話して、それを言った後に「四つのテスト」を唱和するのです。ロータリーと一緒に。そんなようなことで、ロータリーと非常に共通するところもあって、お客様が喜んでくれることは我々の喜び！これは職業奉仕じゃないかなということで、非常に共通点を感じるところでございます。私の挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。



『松原塾』開催のご案内

牛山信康プログラム委員長

皆さんこんばんは。ちょっと補足いたします。山崎会長が今年度、熱い気持ちでぜひひ研修会やりたいということで「松原塾」をやるのですが、ちょっと補足させてください。場所は「夢屋」です。間違わないで下さいませ。草加駅西口ロータリーに近いところです。知らない人はいないと思うのですが、知らない方がいたら私に申し出て下さい。それからここに本「ロータリーの基礎」という青い本必ず持って来てもらいたいです。お持ちでない方は、事務局から手に入れてもらいたいです。それで、今現在、11人の参加をいただきました。本当にありがとうございます。主催者として気にしているのは、ドタキャン、出席と言ってこられられないと、ちょっと予算が狂ってしまいますので、是非出席に丸をつけた方は当日欠席しないように、是非ともご注意をいただきたいという風に思います。それでは、11人の皆さんと一緒に、勉強会というほどではないのですが、ロータリーを語る会をやりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

第1回 松原塾開催

2月29日(木)午後6時より草加駅周辺の夢や「芭蕉亭」にて開催されました。勉強会では「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」の教材をもとに勉強し、その後の交流会では飲食をしながら参加者同士の交流を深め、クラブの歴史や体験談など先輩会員から教示、雑談も交え有意義な場となりました。次回は3月21日(木)新田駅周辺の「ざぼう」で行います。皆様のご予定に入れていただき多くのご参加をお願い致します。

【勉強会】

- ・山崎会長
- ・牛山会員、森会員、飯山会員
- ・富永会長エレクト

ロータリーの目的、構造、精神についての解説
直近(通年)の活動内容や国際交流などについてのレクチャー
次年度の活動方針など

参加者

- | | |
|--------|------------|
| 山崎秀美会長 | 富永 悟会長エレクト |
| 飯山英彦会員 | 牛山信康会員 |
| 大塚嘉一会員 | 北畠文康会員 |
| 鈴木 努会員 | 田中和郎会員 |
| 森 勇一会員 | 二階堂祐司会員 |
| 安田洋介会員 | 圀田一人会員 |
| 黒川和彦会員 | 渡辺直之会員 |



幹事報告

皆さんこんばんは。幹事報告をいたします。今日はですね、皆さんのお手元にロータリーの「財団奨学生募集」というパンフレットがあるかと思います。これはロータリー財団の国際的教育プログラムということで、日本から海外の大学あるいは大学院の方に行くという制度でございます。奨学金が出ます。色々書いてありますけれども、海外の大学または大学院で1年間学ぶための奨学金としては、2万ドル、あるいは(b)にありますように平和構築と紛争予防とか、色々条件がついております。そこに行かれる方は年間で3万6,000ドル奨学金が出ます。なお、受付が2月26日か～5月10日までということで、申請の日にちがは決まっておりますので、お知り合いに財団奨学生で海外に勉強に行ってみたい方がいらっしゃいましたら、早めに連絡をしていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

会田小弥太幹事



今後のプログラム

- | | | |
|------|---------------|--------|
| 3/12 | フィリピン国際奉仕事業報告 | レセプション |
| 3/19 | 卓話 小林操パストガバナー | レセプション |
| 3/26 | お花見例会 | 上野精養軒 |

2月27日 ニコニコBOX			
金額	18,000円	累計	615,000円
2月27日 出席報告			
会員総数	34	出席	16
出席免除	2	MU	2
出席適用	32	出席率	56.25

- | | |
|---------|---|
| 山崎 秀美会長 | 富永 悟エレクト、今日は卓話宜しくお願ひ致します。 |
| 会田小弥太幹事 | 富永 悟会員卓話楽しみです。宜しくお願ひ致します。 |
| 牛山 信康会員 | 来年度富永さんの年度がフレッシュな会員を中心に伸び伸びと活動されることを期待しています。 |
| 大塚 嘉一会員 | 娘(大4)が現在短期留学でフランスに行っています。スシが食べたいと泣き言を言っていました。 |
| 北畠 文康会員 | 富永 悟エレクトのお話し楽しみです。 |
| 鈴木 努会員 | 今日は熊谷へ行って来ました。草加より3度気温が低かったです。“寒～い所でした”富永会長エレクトの卓話を神妙に聞きます。 |
| 田中 和郎会員 | 富永会員卓話及び次年度の抱負、楽しみに来ました。今日は風が強くて大変な一日でした。 |
| 二階堂祐司会員 | 富永会員卓話楽しみです。 |
| 長谷部健一会員 | インフルエンザで2週間休みました。富永会長エレクトの話を楽しみに来ました。 |
| 松田 龍美会員 | お世話になります。 |
| 安田 洋介会員 | 本日は富永会長エレクトの卓話を楽しみにして参りました。宜しくお願ひ致します。 |
| 圀田 一人会員 | 今日は富永会員の卓話楽しみです。 |
| 竹村 美保会員 | 明日幼稚園ではマラソン大会が行われます。晴の予報が何よりです。 |
| 渡辺 直之会員 | 本日は富永会員の卓話楽しみしております。 |
| | 富永会長エレクトの卓話を楽しみに参りました。よろしくお願ひ致します。 |